

INOA

TECHNICAL GUIDE

テクニカルガイド

L'ORÉAL
PROFESSIONNEL
PARIS

Technology.

innovative NO Ammonia.

カラー剤特有のツンとしたにおいを感じにくい、
アンモニア無配合



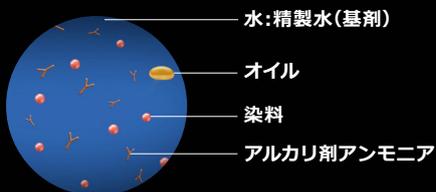
O.D.S

Oil Delivery System [オイルデリバリーシステム]

ダメージに配慮した、ロレアル独自の先進テクノロジー

一般的なカラー剤*1

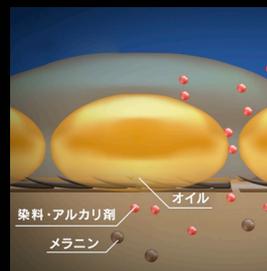
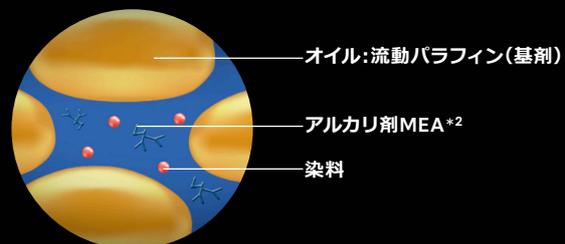
WATER (水が主成分)



髪表面をアルカリ剤に晒し、キューティクルを膨潤させることでアルカリ剤と染料を髪内部に浸透させる。

iNOA

OIL 約60% (オイルが主成分)



オイルが髪表面に付着し、水に溶けた染料とアルカリ剤を毛髪内部へ押し込む。

O.D.S POINT

水とオイルは反発しあい、水はオイルから逃げ出そうとする。髪内部は親水性のため、水は逃げ場として髪内部へ効率よく浸透していく。

Premium Experience.

1

Innovation

Innovative No Ammonia.

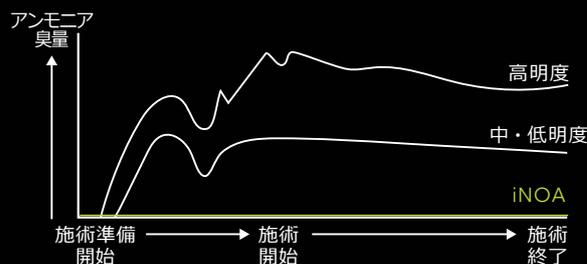
革新

アンモニア無配合

アンモニア無配合

ツンとしたにおいが抑えられるため、お客様にとっても、スタイリストにとっても快適なヘアカラー体験。

施術中におけるアンモニア臭の変化 ※当社調べ

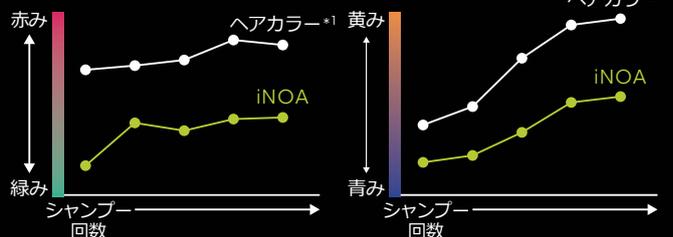


2

Innovation

シャンプーを重ねても赤み・黄みを抑制、日本人女性が好む色が継続

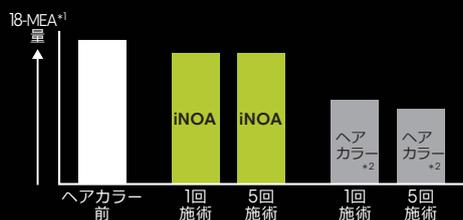
シャンプーを重ねた時の色変化 ※当社調べ



3

Innovation

ヘアカラーのダメージに着目。繰り返しのカラーでも18-MEA*1残存量をキープ



18-MEA*1とは？

キューティクルの外側にある脂肪酸。健康毛の表面には18-MEA*1は、ダメージを受けると剥がれ落ち、手触りが悪くなる。

健康毛



18-MEA*1が残っている状態

ダメージ毛



18-MEA*1が一部剥がれ落ちた状態

Oil Gloss Color.

ツヤ髪に導く 6割オイル配合カラー

オイル高配合の独自粘度 形状変化する高操作性クリーム

1. オイルが髪表面に付着し、水に溶けた染料とアルカリ剤を毛髪内部へ押し込みます。
2. 水とオイルは反発しあい、水はオイルから逃げ出そうとする。髪内部は親水性のため、水は逃げ場として髪内部へ効率よく浸透していく。
3. クリームがオイルグロス発色へと変化し、イノアならではの高いツヤ色を演出します。



〈塗布後〉



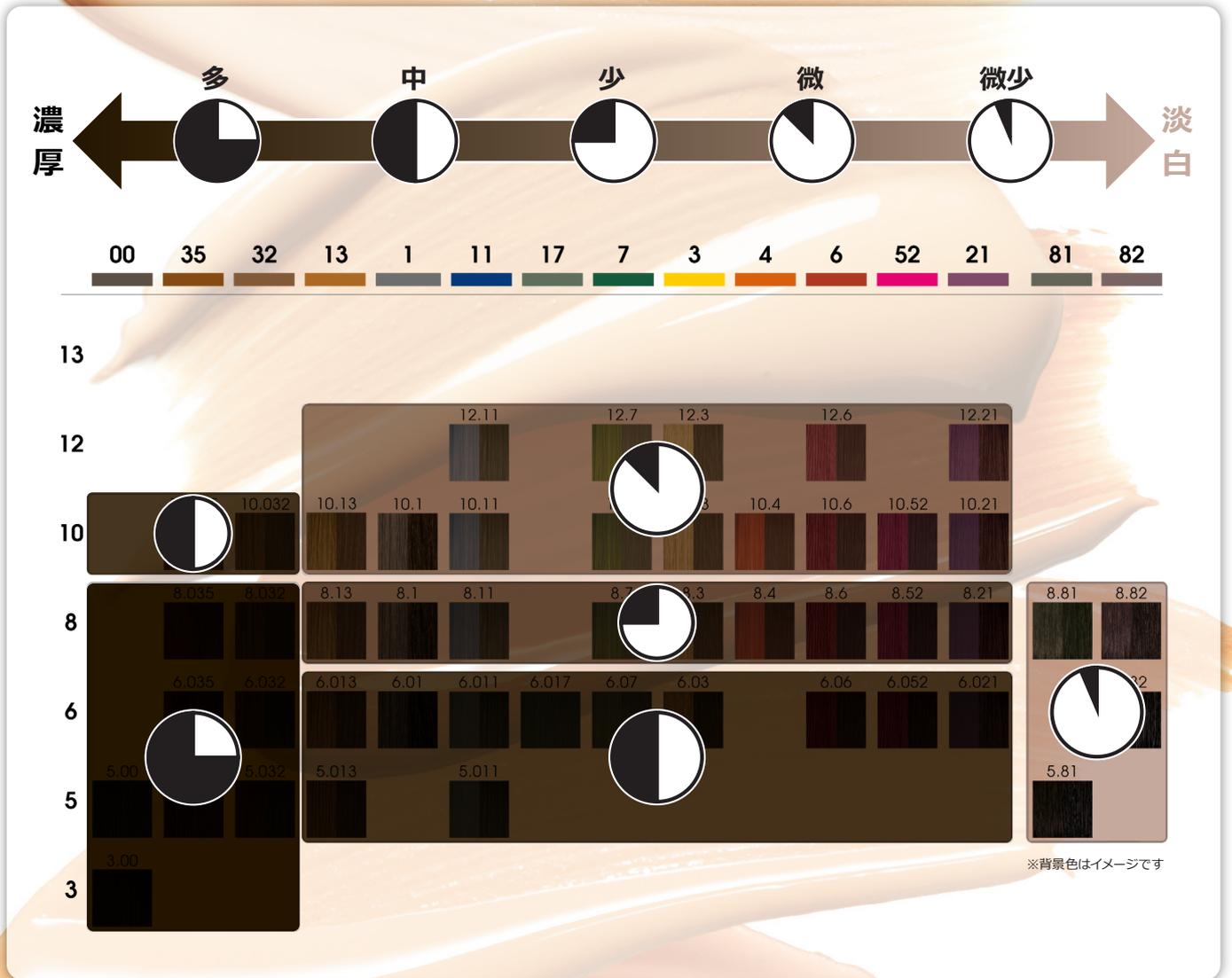
オイルグロス発色

〈放置後〉

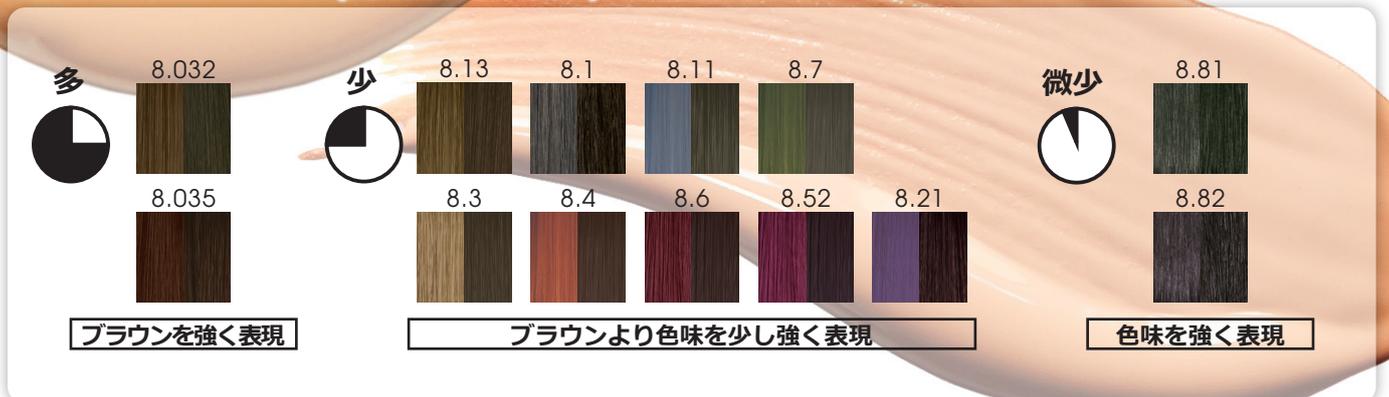
Base Foundation.

ベース・ファンデーション

新生部・既染部のアンダーをブラウンからグレイージュまでファンデーションで幅広くコントロール。ベース仕上げでも好みの色味をプラスするのも思いのままに。



CASE STUDY 〈同明度での違い〉



How To Use.

基本的な使用方法

薬剤選択

シェード	髪質	酸化剤
イノア (医薬部外品) 各 60g 	イノア オキシタンクレーム 各1000mL (医薬部外品) 軟毛・乾燥毛等、 染まりやすい髪～既染毛	3% 
	硬毛・脂性毛等、 染まりにくい～標準毛	6% 

混合比率

1剤:2剤

1 : 1

※ ミックスは、ムラが無いようにしっかりと
攪拌してください。

放置時間

自然放置



※使用上の注意をよく読んで、正しくお使いください。 ※ヘアカラーがかぶれたことのある方には、絶対に使用しないでください。 ※ご使用前には、毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)をしてください。

塗布工程

準備

- **ドライ状態**でコーミングして髪を整えます。
- 前処理剤後は髪表面を乾かしてカラー塗布に移ります。

塗布

- 根元…均一にたっぷりとムラなく塗布します。
- 中間毛先…指で毛束の内側まで押し込むように均一にたっぷりとムラなく塗布します。



毛束がクリームで包まれる程度量が目安

放置

- 自然放置後にカラーチェックを行います。
- 薬剤をふき取り明度や色味を確認して時間を調節します。

全体工程：3～5分

乳化



1. シャンプー台にて **少量**のお湯溜めます。〈目安: ロレアル カラーカップ 約1杯分〉
2. 少量のお湯を頭皮・地肌に付着した薬剤となじませます。
3. 薬剤が白っぽく(乳濁状)なるまで頭全体の頭皮付近を乳化させます。
4. 毛髪の乳化は約5センチ角のブロックをわけ取り、中間毛先の順にキューティクルの流れに沿って薬剤をお湯と馴染ませていきます。
5. カラー剤がクリーミーな状態で、毛髪の引っかかりがなくなれば終了です。

流洗

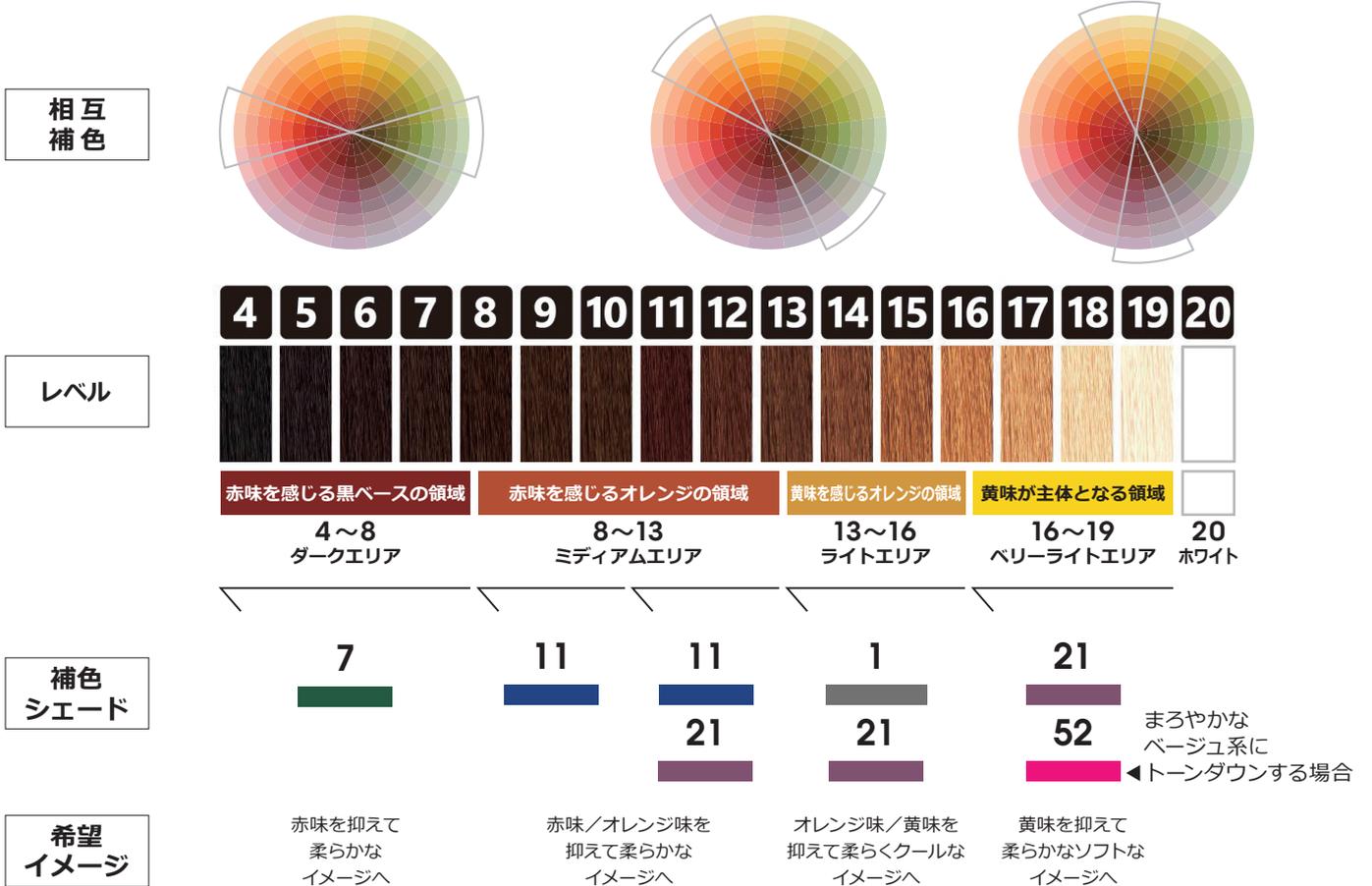
- プレーンリンス後、カラーシャンプーを行います。

仕上げ

Under Control.

アンダーコントロール

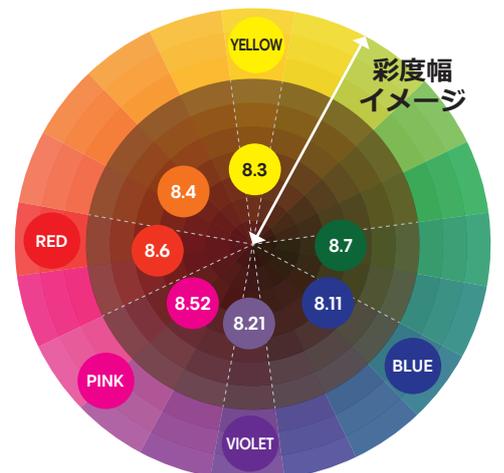
ハイトーンから色味を落とす、薄く色をかぶせるなど求める色味に向けて〈アンダーの下地〉と〈染料と補色〉がどのように影響するか知ることが重要です。



Tint Control.

ティントコントロール

- 右図のように様々な色を表現することが可能です。
- 下図のようにBOOSTERで強調することで色味を強くし、〈赤みが強く抑制〉〈高彩度〉にすることが可能です。 ※ 下の比率は一例です。



Tone Down Sheet.

トーンダウン表

アンダーのレベルによってブラウン量:ベースコントロールを踏まえて適切な薬剤を選定しましょう。

トーンダウン目安 **.3** **.4** **.6** **.52**

		現在の明るさ (レベル)											
		5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
仕上がりレベル (レベル)	14												12
	13											12	12+10 1:1
	12								12		12+10 1:1	10	
	11								12+10 1:1		10	10+8 1:1	
	10						10		10+8 1:1		8		
	9					10+8 1:1		8		8+6 2:1		8+6 1:1	
	8				8		8+6 2:1		8+6 1:1		6		
	7			8+6 2:1		8+6 1:1		6					
	6			6									
	5												

※032/035/00 MIX領域

トーンダウン目安 **.1** **.11** **.13** **.7** **.21**

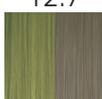
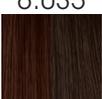
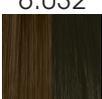
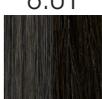
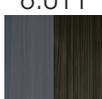
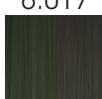
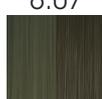
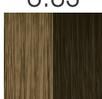
		現在の明るさ (レベル)											
		5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
仕上がりレベル (レベル)	14												
	13												12
	12										12		10
	11								12		10		8
	10								10		8		8+6 1:1
	9						10		8		8+6 1:1		8+6 1:2
	8						8		8+6 1:1		6		
	7				8		8+6 1:1		6			6+5 1:1	
	6			6				6+5 1:1		5			
	5				5								

※032/035/00 MIX領域

Gray Cover Mix.

白髪染め目安表

.00/.032/.035のブラウン量:多グループの5-6レベルの濃い染料と色味のグループを同配合ミックスし、幅広いグレイカラーデザインを可能にします。

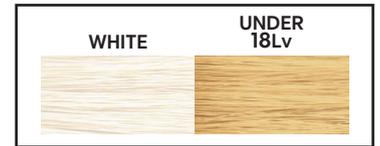
想定レベル	配合比	1	:	1			
10		6.035 		6.032 	+ LIGHTENER+ 	※白髪30%に対する目安 ※全レシピは左右で同比率	
9-10		6.035 		6.032 	+ 12.11  12.7  12.3  12.6  12.21 		
8-9		5.00 		5.035 			5.032 
8		6.035 		6.032 	+ 10.035  10.032  10.13  10.1  10.11 		
7		5.00 		5.035 			5.032 
7-8		6.035 		6.032 	+ 8.1  8.11  8.7  8.3 		
6		6.035 		6.032 	+ 6.01  6.011  6.017  6.07 		
5-6		5.00 		5.035 			5.032 
					+ 6.03  6.06  6.052  6.021 		

染まりが悪くなる場合

Clear Mix Palette.

クリアミックス表

8レベルにクリアを同比率で薄め、ホワイトと18レベルに染毛した毛束です。パールトーンや、色相を変えずに明度を変える時などに有効です。



	8.035	8.032	8.13	8.1	8.11
+CLEAR 1:10					
+CLEAR 1:5					
+CLEAR 1:3					
+CLEAR 1:2					
+CLEAR 1:1					
原色					

	8.7	8.3	8.4	8.6
+CLEAR 1:10				
+CLEAR 1:5				
+CLEAR 1:3				
+CLEAR 1:2				
+CLEAR 1:1				
原色				

	8.52	8.21	8.81	8.82
+CLEAR 1:10				
+CLEAR 1:5				
+CLEAR 1:3				
+CLEAR 1:2				
+CLEAR 1:1				
原色				

オイルカラー革命^{*1}続く。

INOA Mocha.



イノアカラー史上初。

1本で決まる、透明感を究めた^{*2}ファッションブラウン

長持ちするツヤ、アンモニア無配合もそのままに。

Mocha Grayge./ Labeige.

ブラウン〈微少〉のベースファンデーション2ライン

French Beige Mix.

力強い深みと柔らかな透明感が美しく調和

Mocha Clear Palette.

グレージュらしさと透明感が続くピュアな褪せ色

*1:ロレアルプロフェッショナルにおいて *2:イノアにおいて

1

Mocha Grayge./ Labeige.

ブラウン〈微少〉のベースファンデーション2ライン

最小限のブラウンベースで構成されたモカが持つグレイージュは、髪に力強い深みと柔らかな透明感を美しく調和させます。

プレミアムで上質なヘアカラーによって肌色も引き立て、褪色過程の黄味やオレンジを抑えてグレイージュの特徴を長く楽しめます。

モカグレイージュ

Mocha Grayge.

白毛への染色イメージ

8.81

5.81



モカラベージュ

Mocha Labeige.

白毛への染色イメージ

8.82

6.82



2

French Beige Mix.

力強い深みと柔らかな透明感が美しく調和

モカの新規性①

赤茶味を含まない最小限のベース

⇒ 赤みや濁りを感じさせない仕上がりに。

モカの新規性②

フレンチベージュmixによる色味

⇒ 日本人特有の赤みや黄みのアンダーを打ち消す。

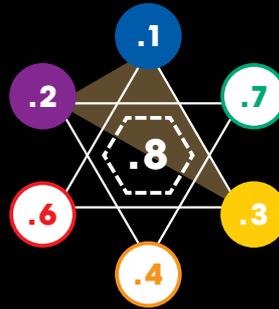
.035/.032(既存のブラウン)の染料構成



.81/.82(モカ)の染料構成



フレンチベージュmix



.81/.82の比較



Mocha Grayge Mix.

モカグレーージュミックス

モカはフレンチベージュミックスというオリジナルの色素構成になっているため、必要な色補正をリアルプロフェッショナル初の.81/.82相互補完ミックスで対応することが可能です。

	UNDER	モカグレーージュ 仕上がりLv	MOCHA GRAYGE モカグレーージュ 8.81	MOCHA LABEIGE モカラベージュ 8.82
17Lv			10.5	1 : 4
16Lv			10	1 : 3
15Lv			9.5	1 : 2
14Lv			9	1 : 1
13Lv			8.5	2 : 1
12Lv			8	8.81 単体使用

3

Mocha Clear Palette.

洗練された濃縮グレージュの可能性

濃縮なグレージュをクリアミックスでアレンジしても色相はズレにくく安定感のある美しさを表現しやすい設計。力強い透明感から柔らかい質感までブラウン微少ならでの世界観は多様です。

	8.81 + CLEAR		8.82 + CLEAR	
	WHITE	18LV	WHITE	18LV
+CLEAR 1:10				
+CLEAR 1:5				
+CLEAR 1:3				
+CLEAR 1:2				
+CLEAR 1:1				

WWW.LOREAL-PROFESSIONNEL.JP

L'ORÉAL
PROFESSIONNEL
PARIS



@lorealpro_education_japan
#lorealpros
#ロレアルプロ
#イノアカラー

